

グリーンコンシューマーになろう

■ 題材の目標

- (1) 家庭生活と消費に関心を持ち、自ら意志決定することにより環境に配慮し、消費生活をよりよくしようとする。
- (2) 消費生活にかかわる問題に気づき解決するために、賢い消費者として生活の工夫ができる。
- (3) 問題解決に必要な情報の収集・整理・活用を行い、適切な商品の選択・購入・廃棄まで考えた意志決定ができる。
- (4) 消費生活と環境に関する基礎的な知識を身につけ、よりよい消費生活のあり方を理解する。

1. 題材設定の理由

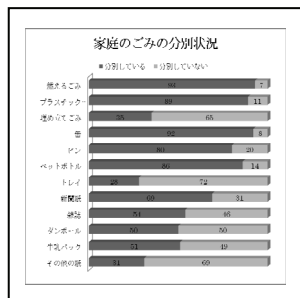
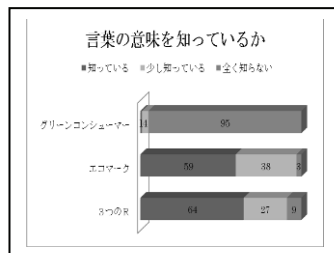
富士市は平成 21 年 4 月よりプラスチックごみを分別し、燃えるごみを黄色の指定袋に入れて出すようになった。しかし、生徒たちの家庭内のごみ分別についての意識は低く、「トレイ」や「その他の紙」「埋め立てごみ」の分別ができていないことがわかった。エコマークへの意識も低く、グリーンコンシューマーについて知っている生徒はほとんどいなかった。環境を守ることが大切なことはわかっているが、環境に配慮した消費生活を実践している生徒は少ないと考えられる。近年、環境問題が叫ばれる中、消費行動が盛んになり多様化する生徒たちに、自分の消費行動が環境に影響していることをはっきりと認識させる必要があると考えた。

家庭や地域社会に目を向け、自らの生活を見直しながら環境に配慮した消費生活の工夫についての課題を見つけ実践したいと考え、本題材を設定した。家庭で環境に配慮した消費生活を送れるように、家族を巻き込み継続的な実践につながることを期待したい。

「C衣生活・住生活と自立」の学習と関連を図り、布を用いた物の製作として、着られなくなった衣服や家庭にある物を活用したリユースハンガーの製作を行った。

2. 指導計画

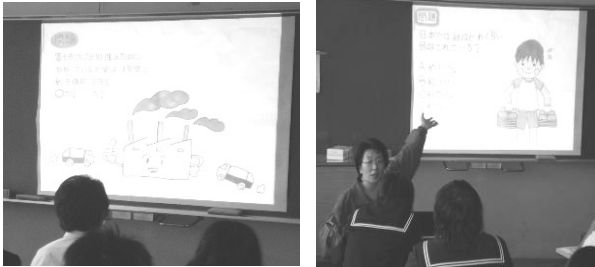
授業内容	時数
○地域のごみ集積所を調査し、調査結果を発表しよう。 ○地域の問題点を考えよう。	1
○富士市のごみの実態について知ろう。 ○自分が実践できることを見つけて「グリコン宣言」をしよう。	1 本時
○「グリコン宣言」を実践するための疑問や知りたいことをインターネットで調べよう。 ○実践計画や家族に協力してもらうことを考えよう。	1
○家庭で実践したことや地域で協力してもらいたいことをポスターにまとめ、地域に発信しよう。	2
○着られなくなった衣服や家庭にある物を活用してリユースハンガーを製作しよう。	5



3. 授業過程

学習活動

- ごみのクイズに挑戦しよう。(NPO富士市ごみを考える会作成)
- ★富士市ごみマイスター(環境学習コーディネーター)の方がゲストティーチャーとして参加。



- 環境に配慮した生活ができているか、自分の生活の問題点を考えよう。

- グリーンコンシューマーになろう。環境に配慮した生活をするために、自分が実践していくことを考え、宣言しよう。(グリコン宣言)

- ゲストティーチャーからグリーンコンシューマーの買い物の仕方や環境にやさしい暮らし方などの話を聞こう。
- ★事例…ティッシュペーパーの選び方(紙の町富士市) フェアトレードのコーヒーなど

- 「グリコン宣言」と実践するために知りたいことや調べることを考えよう。(学習班)

- ★グリーンコンシューマーの10原則、グリーンコンシューマーの行動の事例の資料を用意する。

- *「アルミ缶、ペットボトル、トレイをリサイクルします。」→リサイクルした後を調べる。
- *「残食をなくします。」→エコクッキングのレシピを調べる。
- *「買い物する時はエコバッグを使います。」→エコバッグとレジ袋削減の効果を調べる。
- *「節水、節電を心がけます。」→消費電力や待機電力について調べる。
- *「プラスチックやその他の紙の分別をしっかりとします。」→富士市の分別方法を調べる。
- *「着られなくなった服を捨てません。」→リメイク方法を調べる。

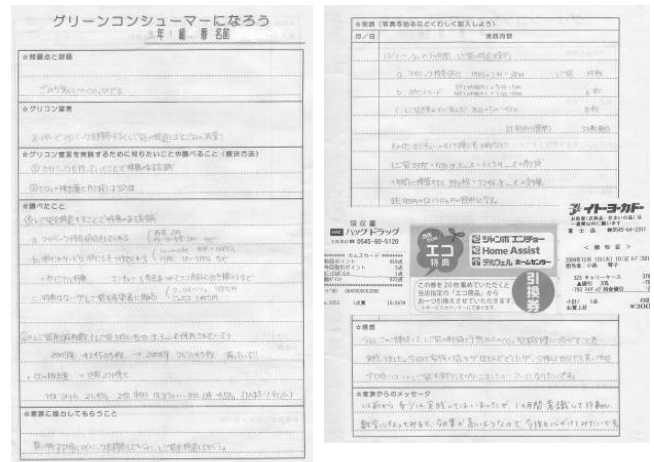
- 自分の考えた「グリコン宣言」を3つのRに分類しよう。「グリコン宣言」を紙に書いて黒板に貼り発表しよう。
- ★ゲストティーチャーにアドバイスをもらおう。

4. 資料

☆地域のごみ集積所について調べよう



☆グリーンコンシューマーになろう



☆リユースハンガーを製作しよう



参考文献・参考Webページなど

- ・大阪府枚方市グリーンコンシューマー行動推進指針